

2026年

岩手県消費者大会

消費者大会は年1回開催する、県民の皆さんの学習・交流の場です。どなたでも参加できます。

10月28日(水) 10:00～15:30 キオクシアアイーナ7・8階

(盛岡市駅西通1-7-1 TEL 019-606-1717)

**参加
無料**

◆午前：全体会 10:00～11:50(7階ホール)



《平井美津子さんのプロフィール》

■大阪府出身。大阪府公立中学校教諭を2025年度まで43年間務める。上方平和教育研究所を2026年4月1日に本庄豊さんとともに立ち上げる。大阪公立大学・立命館大学・近畿大学非常勤講師。子どもと教科書大阪ネット21事務局長。歴史教育者協議会会員。専門は、日本軍「慰安婦」問題、性暴力問題。

■著書に、「私の性を奪うな。My body, my choice!」(旬報社)、「観光コースでない琵琶湖・滋賀」(高文研)、「キミもワタンも外国人 排外主義はあかん!」(日本機関紙出版センター)など多数。

1. 基調講演

「平和でこそ守られる命と尊厳 ～過去の戦争の真実から、今私たちが考えるべきこと～」

ひら い み つ こ

講師：大阪公立大学・立命館大学・近畿大学非常勤講師 **平井美津子** さん

今年に入っても物価高騰が止まらず、私たちの生活は非常に厳しい状況が続いています。このような中、政府は7月に閣議決定した「骨太の方針」において、安保関連3文書の改定を踏まえ「5年以内に防衛力の変革を実現する」と明記し、防衛費増額への布石を打っています。しかし、こうした軍拡は国民生活の負担増を招き、社会保障をはじめとするあらゆる分野での切り捨てにつながりかねません。さらに、周辺国との緊張を誘発し、かえって紛争のリスクを高める恐れもあります。

「平和な社会をつくるためには何が必要なのでしょう？また、そのためにどうしたらいいのでしょうか？そのことを考えるためには、人類が歩んできた歴史や哲学などの幅広く哲学的な知見が必要ではないでしょうか」とおっしゃる平井美津子さんにお話ししていただきます。平和な社会の実現のため、講演を聞いてみんなで考え合しましょう。

2. アピール提案

◆午後：分科会 13:30～15:30 5つの分科会から興味があるところへご参加ください。

①くらしの問題：AIの基礎知識、暮らしに役立つAI活用

②社会保障問題：安心して病院にかかりたい

③食料・農業問題：食料生産を支える女性にスポットライトを～ともに食料・農業の未来を考えてみよう～

④消費者問題：ねらわれるのは「あなたかも」～悪質商法被害に遭わないために～

⑤平和・教育問題：歴史の真実に向き合う教育実践

※参加は事前申し込みが必要です。裏面の申し込み用紙をご利用ください。

主催：岩手県消費者大会実行委員会(16団体)

後援：岩手県・盛岡市

【お問い合わせ】 岩手県消費者団体連絡協議会

〒020-0690 岩手県滝沢市土沢220-3

TEL 019-684-2225 FAX 019-684-2227

〈会場案内図〉



分科会紹介 13:30～15:30

会場：アイーナ7階・8階

「身近なくらしの問題～あなたならどうしますか？」関心のあるところに参加して考え合いましょう！

第1分科会 『くらしの問題』 ～企画運営団体～ ・消費者信用生協 ・岩手県労働者福祉協議会 ・盛岡大学生協 ・県立大学生協 会場 8階812会議室（定員150名）	「AIの基礎知識、暮らしに役立つAI活用～まだ遅くない。進化するAIにこれからでも追いつける使い方～」 ここ数年、ニュースやスマホでよく耳にするようになった「AI（人工知能）」は、私たちの暮らしにも身近な存在になりつつあります。本分科会では、いま社会でAIがどう使われているのか、日常生活をより便利にする上手な活用術や、使うときに気をつけたいリスクについてお話しいただきます。「AIってなんだか難しそう…」と感じている方も大丈夫！メリットと注意点の両方を知って、これからのAI社会を自分らしく、賢く安全に暮らすコツを学びましょう。 ◇話題提供 工藤浩二さん（岩手県AI活用協会代表） ◇意見交流
第2分科会 『社会保障問題』 ～企画運営団体～ ・盛岡医療生協 ・新日本婦人の会岩手県本部 ・岩手県母親大会連絡会 会場 8階811会議室（定員36名）	「安心して病院にかかりたい」 マイナ保険証・資格確認書などによって病院にかかりづらくなっています。また、OTC類似薬の保険外しや、高額療養費の自己負担増、高齢者医療の「原則3割負担」への見直し、新たな地域医療構想に伴う病床削減など、社会保障の切り捨てが進められようとしています。さらに、政府は「経済財政運営と改革の基本方針」（骨太の方針）を閣議決定し、社会保障については、現役世代の保険料負担抑制を口実に、さらに高齢者の負担増を主張しています。だれもが安心して医療を受けられるよう、世論を大きくしていきましょう。 ◇話題提供 高橋貴志子さん（岩手県社会保障推進協議会） ◇意見交流
第3分科会 『食料・農業問題』 ～企画運営団体～ ・岩手県生協連 ・JA岩手県女性組織協議会 ・いわて生協 会場 7階701会議室（定員36名）	「食料生産を支える女性にスポットライトを～ともに食料・農業の未来を考えてみよう～」 世界では、女性は食料生産に重要な役割や労働を担っているにも関わらず賃金が低い、差別的扱いなど困難が多く、食料生産にもくらしの向上にも障害になっています。そこで国連は今年を「国際女性農業従事者年」に定めました。岩手の食料自給率は109%（東北農政局）で多くの女性生産者が支えています。「岩手の女性生産者の置かれている問題や苦勞、やりがい」などを、生産者も消費者も一緒に聴き学び、安心できる未来の食料についてともに考えてみましょう。 ◇話題提供 県内の女性農業従事者2名 ◇意見交流
第4分科会 『消費者問題』 ～企画運営団体～ ・岩手県労済生協 ・岩手県学校生協 ・岩手大学生協 会場 7階702研修室（定員36名）	「ねらわれるのは『あなたかも』～悪質商法被害に遭わないために～」 近年、不当な手段や違法な勧誘で消費者に契約を結ばせるなどの悪質商法の被害が後を絶ちません。令和6年度県内の消費生活センターなどに寄せられた消費生活相談件数は9,933件、そのうち65歳以上の相談は全体の約3分の1を占め増加傾向にあります。みなさん、「自分だけは大丈夫」と思っていないですか？本分科会では、被害の実態や最新の手口、騙されないためのポイントをわかりやすくお話しいただきます。自分や家族、大切な人が被害に遭わないためにどうしたらいいか、一緒に考えましょう！ ◇助言者 盛岡市消費生活センター ◇意見交流
第5分科会 『平和・人権問題』 ～企画運営団体～ ・岩手県母と女性教職員会の会 ・I女性会議 ・岩手県退職女性教職員会の会 会場 7階703会議室（定員36名）	「歴史の真実に向き合う教育実践」 全体会講師の平井さんから、これまで授業で取り組んでこられた教育実践について詳しくお話をさせていただきます。教育内容への政治介入などの攻撃にさらされても、それにあらがひ教育実践を続けてきたのは、どうしてなのか。平和教育の大切さを、これまで出会ってきた中学生の姿も紹介してもらいながら、平和な社会をつくるために、必要なことについて、参加者のみなさんと考える機会にしていきましょう！ ◇話題提供 平井美津子さん（大阪公立大学・立命館大学・近畿大学非常勤講師） ◇意見交流

参加申し込み：参加は事前申し込みが必要です。以下の方法からお申し込みください。
【FAX】019-684-2227 【Googleフォーム】<https://forms.gle/UwWwVt4zceMd5UJx6>

※全体会は、YouTubeでのライブ・見逃し視聴も可能です。視聴ご希望の方は、Googleフォームでお申し込みください。後日、URL等をお知らせいたします。



Googleフォーム QRコード

締 切 日：10月21日(水) ※定員（300名）になり次第締め切らせていただきます。

お 名 前	ご連絡先（電話番号等）	所属団体等	参加希望に○をつけてください		備考
			全体会	分科会	
				1. くらし 2. 社会保障 3. 食料・農業 4. 消費者 5. 平和・教育	

- * どなたでもご参加いただけます（参加無料）。お気軽にお申し込みください。
- * FAXでお申し込みの方へは、参加をお断りする場合のみご連絡をさせていただきます。
- * 分科会については事前に希望をとっていますが、申し込み多数の場合はほかの分科会にご移動いただく場合があります。ご了承ください。
- * いただいた情報は消費者大会参加集約の目的以外には使用いたしません。
- * 昼食は各自でお願いいたします。ご持参の場合は「エントランス」をご利用ください（ホールでは食べられません）。